

2

お金を借りて使い、長期間でお金を返す「ローン」の仕組み

住宅ローンや自動車ローンなど、具体的な利用シーンと借り入れ・返済額の事例を示しながら、ローンの仕組みとメリット・デメリット、判断・選択のポイントを理解させるとともに、「信用」の意味を理解させる。

【単元名】

お金を借りる～ローンの仕組みと役割～

育てたい力

どのような力が身に付くか

生活を豊かで便利にする「ローン」の役割を知り、家や自動車など、身近な物が保護者などの確かな「信用」と「計画」によって、いまここにあることに気付く。

自分自身の変化

ローンを利用するためには、「信用」のある大人にならなければならない、という自覚を持つ。

他者や社会との関わり

ローンは利用者の「信用」と「計画」、そして返済への日頃の「努力」にもとづくものであることを実感するとともに、「金融」という仕組みが、個人と社会を密接に結び付けていることに気付く。

導入マンガの解説

1時間目の「生活設計・マネープランゲーム」の体験（もしくはモデルケースの学習）を通じて、マネープランについての意識を持つことができた生徒たちに、具体的なマネープランづくりに必要な「ローン」の仕組みを学ばせたい。また「お金を借りる」ということは、一見あまりよくないことのようにも思えるが、正しい判断のもとに行えば、生活を豊かにできる非常に有効な方法であることを学ばせたい。

導入クイズ1 3,000万円の家を買おう！毎月10万円貯めるとして、3,000万円貯めるには何年かかる？

1 10年 2 20年 3 25年

導入クイズ2 家や自動車など、大きな金額の買い物をするとき、先にお金を借りてそれを購入し、後から何年もかけてお金を返済していく、銀行などが行っている仕組みをなんと言うでしょう？

1 ローン 2 前借り 3 クーボン

導入クイズ3 銀行から1,000万円お金を借りて、10年後に一括で返すとします。毎年1年間に2%の金利が付くとすると、10年後いくら返せばいいのでしょうか？

1 約1,020万円 2 約1,100万円 3 約1,220万円

ワークシート WORKSHEET

解答例 解説ポイント

Work 1 クイズの問題を聞いて、下の解答欄に正しいと思った選択肢を書き込もう。

1 (③) 2 (①) 3 (③)

Work 2 ローンで3,000万円の家を買おうと思います。30年間(毎月1回、360回)で返します。

(1) 金利2%、頭金500万円で購入する場合の毎月の返済額、利息や頭金を含む合計の支払額、利息として支払う金額の予想を書いてみよう！

予想	毎月の返済額 ()	毎月の返済額 (92,405円)
	合計の支払額 ()	合計の支払額 (38,265,800円)
	利息で払う金額 ()	利息で払う金額 (8,265,800円)

(2) 金利2%、頭金1,500万円で購入する場合の毎月の返済額、利息や頭金を含む合計の支払額、利息として支払う金額の予想を書いてみよう！

予想	毎月の返済額 ()	毎月の返済額 (55,443円)
	合計の支払額 ()	合計の支払額 (34,959,480円)
	利息で払う金額 ()	利息で払う金額 (4,959,480円)

Work 3 頭金をつくるために毎月5万円貯めようと思います。提示された収支モデルをもとに、どのようなお金の使い方をすればよいか考えてみよう。

- 支出をコントロールする ●必ず発生する生活費以外の娯楽費などを節約する
- 外食や衣服費などを抑える

Work 4 ローンで大きな買い物ができる人はどんな人でしょう？自分だったらどんな人にお金を貸したいと思いますか？

- 継続して支払いができる人 ●安定した収入がある人 ●信用できる人

Work 5 ローンを上手に利用するために大切なことを書いてみよう！

- 1 (安定した収入を得る)
- 2 (頭金を十分に貯める)
- 3 (購入する時期や返済計画をきちんと立てる)

Work 6 今日の学習で分かったことや印象に残ったことなどを書いてみよう！

- (1) 分かったこと
 - ローンは誰でも利用できるわけではない ●頭金が大切
- (2) 印象に残ったこと
 - 頭金の額によって、その後の返済額が変わってくる
- (3) 分からなかったこと・もっと知りたかったこと
 - 金利の仕組み ●他の返済パターン(頭金や金利、返済回数の違い)

解説のポイント

1時間目を振り返り、マンガとクイズで、大きな買い物をするにあたって貯蓄では足りない分をどう補うか考えるきっかけとしたい。

解説のポイント

金利の存在、頭金の差による毎月の返済額の差をしっかりと意識させたい。また、金利や借りの期間、金額が違えば、返済総額が違ってくることに言及したい。

解説のポイント

金利について実感を持たせるために、金利の差によって総支払額がどのくらい違うのかについても予想を立てさせたい。答えはシミュレーションツールを使う、モデル例を提示する、いずれの方法で示してもよい。

解説のポイント

生きていくために必要なお金(食費や住居費など)もあるので、「一切使わない」という選択をしないよう、指導したい。

解説のポイント

1時間目で体験した「生活設計・マネープランゲーム」との関連を大切にさせる。

解説のポイント

ローンは金額が大きい買い物に便利だが、借金であることをしっかりと理解させたい。頭金や毎月の返済額、金利についての知識、計画性の大切さに気付く機会としたい。